

# 茅野市新型コロナウイルス等対策行動計画の概要

健康福祉部  
健康づくり推進課

## 改定の背景

### 新型コロナ対応を振り返っての課題

#### 《平時の準備不足》

- ・主に新型インフルエンザを想定した現行の計画
- ・国・県との連携の課題

#### 《変化する状況への機動的な対応》

- ・変異等による複数の波への対応と長期化
- ・社会経済活動とのバランス

#### 《情報発信の課題》

- ・科学的根拠に基づく情報発信
- ・行動制限などを伴う対策の意図などの情報伝達
- ・感染症に係る差別・偏見の発生

### 政府行動計画・県行動計画の改定

コロナ対応を踏まえ、R6.7月に政府行動計画、R7.3月に県行動計画の改定に伴い、市行動計画の改定が必要

## 改定の理念

感染拡大防止と社会経済活動のバランスを踏まえた、感染症危機に強くてしなやかなに対応できる社会を目指す

## 基本目標

### 感染症危機に対応できる平時からの体制作り

- ・ワクチン接種体制の整備
- ・訓練による対応体制等の点検・改善
- ・DXの推進、人材育成などの対応能力の強化

### 市民生活及び社会経済活動への影響の軽減

- ・適切な情報提供・共有により市民の理解の増進

### 対策の実施にあたっての基本的人権の尊重

- ・必要最小限の行動制限
- ・感染症についての差別・偏見の防止
- ・患者・家族、医療関係者への差別・偏見の防止
- ・社会的弱者への配慮

## 対策の目的および基本的戦略

### I 感染症拡大を可能な限り抑制し、市民の生命及び健康を保護する

- ・感染拡大を抑えて流行のピークを遅らせ、医療体制の整備やワクチン製造の時間を確保する
- ・流行ピーク時の患者数を少なくし医療提供体制への負荷を軽減することで、適切な医療体制を確保する
- ・適切な医療の提供により、重症者数や死亡者数を減らす

### II 住民生活および地域経済に及ぼす影響が最小となるようにする

- ・感染拡大防止と社会経済活動のバランスを踏まえた対策の切り換えを行い、住民生活及び社会経済活動への影響を軽減する
- ・住民生活及び地域経済の安定を確保する
- ・感染症対策等により、欠勤者数を減らす
- ・事業継続計画の作成・実施により、医療や住民生活の安定に寄与する業務の維持

## 対策のポイント

### I 平時の準備の充実

- ・実践的な訓練の実施、必要資材の備蓄及び点検・改善
- ・人材育成を含めた体制整備

### II 様々な感染症に対応する対策の整備

- ・新型インフルエンザ・新型コロナ以外の呼吸器感染症も追加（感染症法第6条第8項の追加）

### III 機動的な切り換え

- ・状況の変化に応じて、対策の切り換え（医療提供体制、ワクチン・治療薬の普及、社会経済の状況等の変化）
- ・対応段階を現在の6段階から3段階（準備期・初動期・対応期）に分け、対策項目ごとに切り換えるタイミングを示す

### V 横断的視点

- ・3つの横断的視点を設定し、各対策項目の強化
- ①人材育成
- ②国・県・他の地方公共団体との連携
- ③DXの推進

### IV 対策項目の見直し

- ・対策項目について、課題となった項目の追加、新設
- ①実施体制      ②情報提供・共有・リスクコミュニケーション（追加）      ③まん延防止
- ④ワクチン      ⑤保健 圏      ⑥物資 圏      ⑦住民の生活及び地域経済の安定の確保 圏